

## ソニー教育財団 教育・保育実践論文で最優秀に輝いた 小・中学校、幼稚園による 「研究発表・授業実践映像」ウェブ公開のお知らせ

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田 昌夫)は、前年度(2019年度)に教育・保育実践論文で「最優秀」に輝いた2校2園の素晴らしい実践を広く全国の先生方にご紹介するため、動画による研究発表やPDF版の研究紀要、小・中学校においては実際の授業を撮影した映像とその指導案を、ソニー教育財団のウェブサイトにて公開いたします。

毎年実施していた「最優秀校全国大会」、「最優秀園実践発表会」には、会場となる学校・園に300から500名の先生方にお集まりいただいておりますが、今年度は感染症拡大に配慮し、ウェブ発表とさせていただきます。子どもたちの様子を実際に見に来ていただくことはできませんが、受賞校・園の日々の研究や工夫を、動画や映像を通じ、例年よりもっと多くの先生方・教育関係者のみなさまに公開することで、全国の先生方の実践に役立てていただけることを期待しています。



### 「研究発表・授業実践映像」ウェブ公開

URL: <https://www.sony-ef.or.jp/workshop/2020.html>

#### 発表校・園(2019年度最優秀受賞)

- 北九州市立藤松小学校(福岡県)  
研究発表(動画)、研究紀要(PDF)、1から6年生までの授業映像と指導案
- 豊川市立南部中学校(愛知県)  
研究発表(動画)、研究紀要・指導案(PDF)、1年生の授業映像
- 国立大学法人福島大学附属幼稚園(福島県)  
研究紀要(PDF)、2020年11月7日に実施したオンライン発表会の研究発表パート(録画)
- 京都市立中京もえぎ幼稚園(京都府)  
2021年1月26日に実施したオンライン発表会の研究発表パート(録画)



### 審査委員長からのメッセージ

#### ■「ソニー子ども科学教育プログラム」

御手洗 康氏 / 学校法人共立女子学園 学園長 理事長元文部科学事務次官

ソニー教育助成60周年を迎えた2019年度に、最優秀校に輝いた藤松小学校、南部中学校の授業実践や研究を、ウェブを利用し、実際に先生方が撮影した授業映像なども含めて広く全国の先生方に公開できることを大変嬉しく思っています。実践を振り返り、指導方法の改善と指導力の向上を図ることは、児童・生徒の成長に繋がります。受賞校の先生方の日々の努力とアイデアによる実践をぜひご覧ください。

#### ■「ソニー幼児教育支援プログラム」

小泉 英明 氏 / (株)日立製作所 名誉フェロー

研究発表の様子を公開いただいた福島大学附属幼稚園、中京もえぎ幼稚園では、子どもの主体性を尊重した保育が展開されています。保育者間のカンファレンスや記録の工夫、保護者や地域との連携など、周囲の大人も協働して子どもの成長を支えることの重要性を学ぶことができます。公開保育を実際に見ていただくことができないのは残念ですが、受賞園の想いがこもった実践を、より多くの方にお届けできることを嬉しく思います。

## ■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト」、保育者のための会員組織「乳幼児のための“科学する心”ネットワーク」運営など、未来を生きる子どもたちと先生のためのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

## ■小・中学校対象「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

## ■幼稚園・保育所・認定こども園対象「ソニー幼児教育支援プログラム」保育実践論文とは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

当財団では、1959年にソニー創業者の井深大が始めた本教育助成を60年以上に亘り継続して実施しています。2021年度は学校・園での論文の他に、個人で応募できる小・中学校対象「教育実践計画」募集を開設予定です。いずれも2021年8月より募集を開始します。

ソニー教育財団および論文・研究発表・事例紹介等について詳しくは、公式ウェブサイトをご覧ください：  
<https://www.sony-ef.or.jp/>

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ウェブサイト: <https://www.sony-ef.or.jp/>